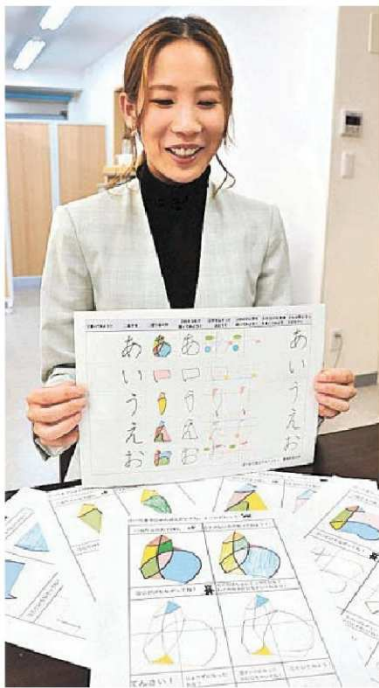


記事を読んで、問いに答えましょう。

2020年9月29日朝刊 西部版

塗り絵で書道上達

御前崎 村松さん考案



字画の余白に色を塗る習字方法を説明する村松さん＝御前崎市内

御前崎市の書道家村松あゆみさん(29)がこのほど、未就学児や小学生向けに塗り絵を活用したユニークな習字方法を考案した。字画の余白部分をさまざまな色で塗りつぶし、いくつもの図形を浮かび上がらせるのが特徴で、「違った見方で楽しく練習してほしい」と話す。

個展やデザイナー活動で塗り絵が指導に効果的の傍ら、児童向けの書道教室も開いている村松さん。多くの子どもは習字の際、お手本の線を強く意識して再現しようとするという。「美しい文字の鍵は余白にある」との思いから、試行錯誤を経

て塗り絵が指導に効果的との結論に至った。小さな余白に色を塗ることで手先を器用に動かす能力や、目で見た物の位置や向きを認識する能力の向上も期待できるとい。

習字方法を「ぬりえもじ」と名付け、動画投稿サイト「ユーチューブ」に児童が挑戦する様子を公開している。一部の平仮名の練習用紙は、動画の紹介文に書かれたURLからダウンロードできる。

(御前崎支局・木村祐太)

余白意識楽しく練習

①村松さんは美しい文字を書く鍵は何にあると考えていますか。

()

②子どもは習字の際に何を意識して書こうとすることが多いですか。

()

③字画の余白部分をさまざまな色で塗りつぶすことで、どのような効果が期待できますか。2つ書きましょう。

()

()

年 組 名前

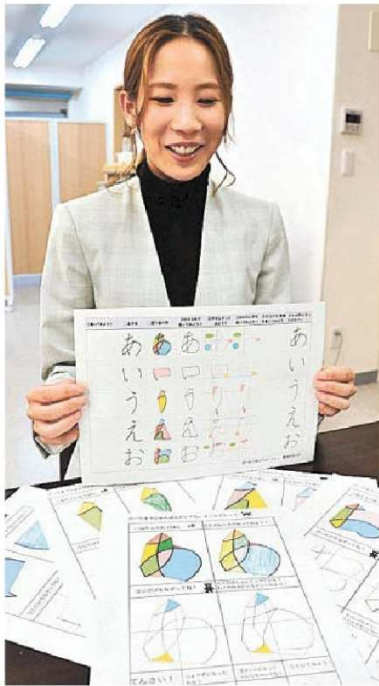
記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2020年9月29日朝刊 西部版

塗り絵で書道上達

御前崎 村松さん考案



字画の余白に色を塗る習字方法を説明する村松さん＝御前崎市内

御前崎市の書道家村松あゆみさん(29)がこのほど、未就学児や小学生向けに塗り絵を活用したユニークな習字方法を考案した。字画の余白部分をさまざまな色で塗りつぶし、いくつもの図形を浮かび上がらせるのが特徴で、「違った見方で楽しく練習してほしい」と話す。

個展やデザイナー活動で塗り絵が指導に効果的の傍ら、児童向けの書道教室も開いている村松さん。多くの子どもは習字の際、お手本の線を強く意識して再現しようとするという。「美しい文字の鍵は余白にある」との思いから、試行錯誤を経て、習字方法を「ぬりえもじ」と名付け、動画投稿サイト「ユーチューブ」に児童が挑戦する様子を公開している。一部の平仮名の練習用紙は、動画の紹介文に書かれたURLからダウンロードできる。

(御前崎支局・木村祐太)

余白意識楽しく練習

①村松さんは美しい文字を書く鍵は何にあると考えていますか。

(**余白**)

②子どもは習字の際に何を意識して書こうとすることが多いですか。

(**お手本の線を強く意識して(再現しよう)書く。**)

③字画の余白部分をさまざまな色で塗りつぶすことで、どのような効果が期待できますか。2つ書きましょう。

(**(例) 小さな余白に色を塗ることで手先を器用に動かす能力の向上が期待できる。**)

(**目で見た物の位置や向きを認識する能力の向上が期待できる。**)

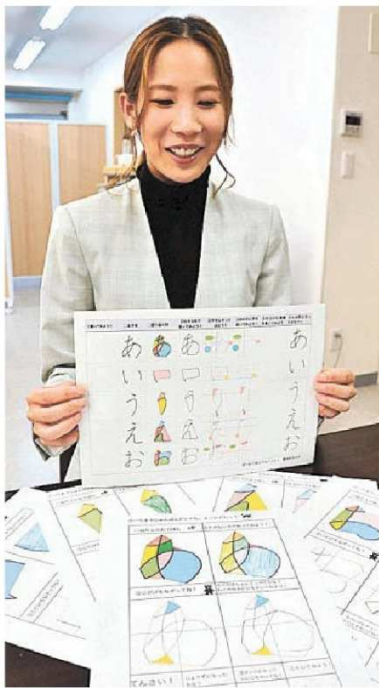
年 組 名前

記事を読んで、問いに答えましょう。

2020年9月29日朝刊 西部版

塗り絵で書道上達

御前崎 村松さん考案



字画の余白に色を塗る習字方法を説明する村松さん＝御前崎市内

御前崎市の書道家村松あゆみさん(29)がこのほど、未就学児や小学生向けに塗り絵を活用したユニークな習字方法を考案した。字画の余白部分をさまざまな色で塗りつぶし、いくつもの図形を浮かび上がらせるのが特徴で、「違った見方で楽しく練習してほしい」と話す。

個展やデザイナー活動で塗り絵が指導に効果的の傍ら、児童向けの書道教室も開いている村松さん。多くの子どもは習字の際、お手本の線を強く意識して再現しようとするという。「美しい文字の鍵は余白にある」との思いから、試行錯誤を経

て塗り絵が指導に効果的との結論に至った。小さな余白に色を塗ることで手先を器用に動かす能力や、目で見ただけの位置や向きを認識する能力の向上も期待できるという。

習字方法を「ぬりえもじ」と名付け、動画投稿サイト「ユーチューブ」に児童が挑戦する様子を公開している。一部の平仮名の練習用紙は、動画の紹介文に書かれたURLからダウンロードできる。

(御前崎支局・木村祐太)

余白意識楽しく練習

①村松さんは美しい文字を書く鍵は何にあると考えていますか。

()

②子どもは習字の際に何を意識して書こうとすることが多いですか。

()

③字画の余白部分をさまざまな色で塗りつぶすことで、どのような効果が期待できますか。2つ書きましょう。

()

()

年 組 名前

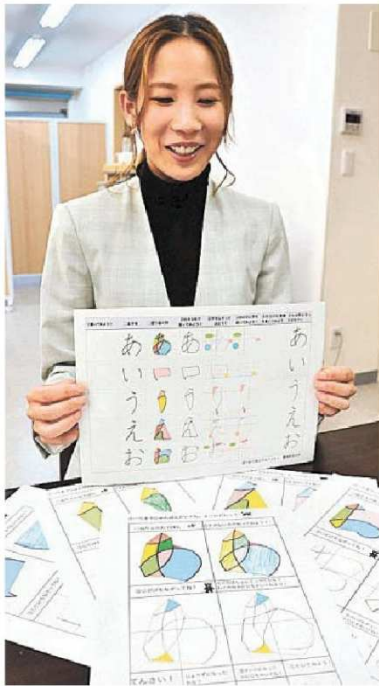
記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2020年9月29日朝刊 西部版

塗り絵で書道上達

御前崎 村松さん考案



字画の余白に色を塗る習字方法を説明する村松さん＝御前崎市内

御前崎市の書道家村松あゆみさん(29)がこのほど、未就学児や小学生向けに塗り絵を活用したユニークな習字方法を考案した。字画の余白部分をさまざまな色で塗りつぶし、いくつもの図形を浮かび上がらせるのが特徴で、「違った見方で楽しく練習してほしい」と話す。

個展やデザイナー活動で塗り絵が指導に効果的の傍ら、児童向けの書道教室も開いている村松さん。多くの子どもは習字の際、お手本の線を強く意識して再現しようとするという。「美しい文字の鍵は余白にある」との思いから、試行錯誤を経て、習字方法を「ぬりえもじ」と名付け、動画投稿サイト「ユーチューブ」に児童が挑戦する様子を公開している。一部の平仮名の練習用紙は、動画の紹介文に書かれたURLからダウンロードできる。

(御前崎支局・木村祐太)

余白意識楽しく練習

①村松さんは美しい文字を書く鍵は何にあると考えていますか。

(**余白**)

②子どもは習字の際に何を意識して書こうとすることが多いですか。

(**お手本の線を強く意識して(再現しよう)書く。**)

③字画の余白部分をさまざまな色で塗りつぶすことで、どのような効果が期待できますか。2つ書きましょう。

(**(例) 小さな余白に色を塗ることで手先を器用に動かす能力の向上が期待できる。**)

(**目で見た物の位置や向きを認識する能力の向上が期待できる。**)

年 組 名前